

ダイヤモンド富士

ダイヤモンド富士とは、ちょうど富士山山頂の向こうに太陽が沈む景色のことです。ほんの僅かな間、光り輝く太陽が富士山の象徴的なシルエットの上に宝石のように見えます。何千人という熱心な写真家がアマチュアもプロもこぞってこのダイヤモンド富士をカメラに収めようとしますが、これには計画、忍耐と天気のコラボが必要です。

夜のダイヤモンド

地軸の傾きにより、太陽が地平線上で昇ったり沈んだりするところが毎日少しずつ変わるため、ダイヤモンド富士を目撃できる角度も変わっていきます。山中湖は富士山の北東に位置しているため、10月半ばから2月終盤までの期間には湖岸に沿って、毎夕どこかにダイヤモンド富士が見られる可能性のあるスポットがあります。長池親水公園や平野湖畔、交流プラザきらら湖畔は、人気の鑑賞スポットです。湖面が穏やかな場合には、切望される、富士山と日没が湖に反射する「ダブルダイヤモンド富士」を撮影できることもあります。

朝の宝石

朝にダイヤモンド富士を見るには、日没時に富士山の西側で待機しなければなりません。富士五湖の中で最も西に位置する本栖湖には、それにぴったりのスポットがいくつかあります。1月1日には、標高1,485メートルの龍ヶ岳の山頂の少し手前にある展望台が絶好のスポットとなります。ダイヤモンド富士は午前7時40分前後に現れます。